

減災のための目標(案)について

減災のための目標(案)

■5年間で達成すべき目標

荒川水系(埼玉県域)の大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す

※大規模水害……想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ……立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態

※社会経済被害の最小化……大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、荒川において以下の取組を実施。

1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取組
3. 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組

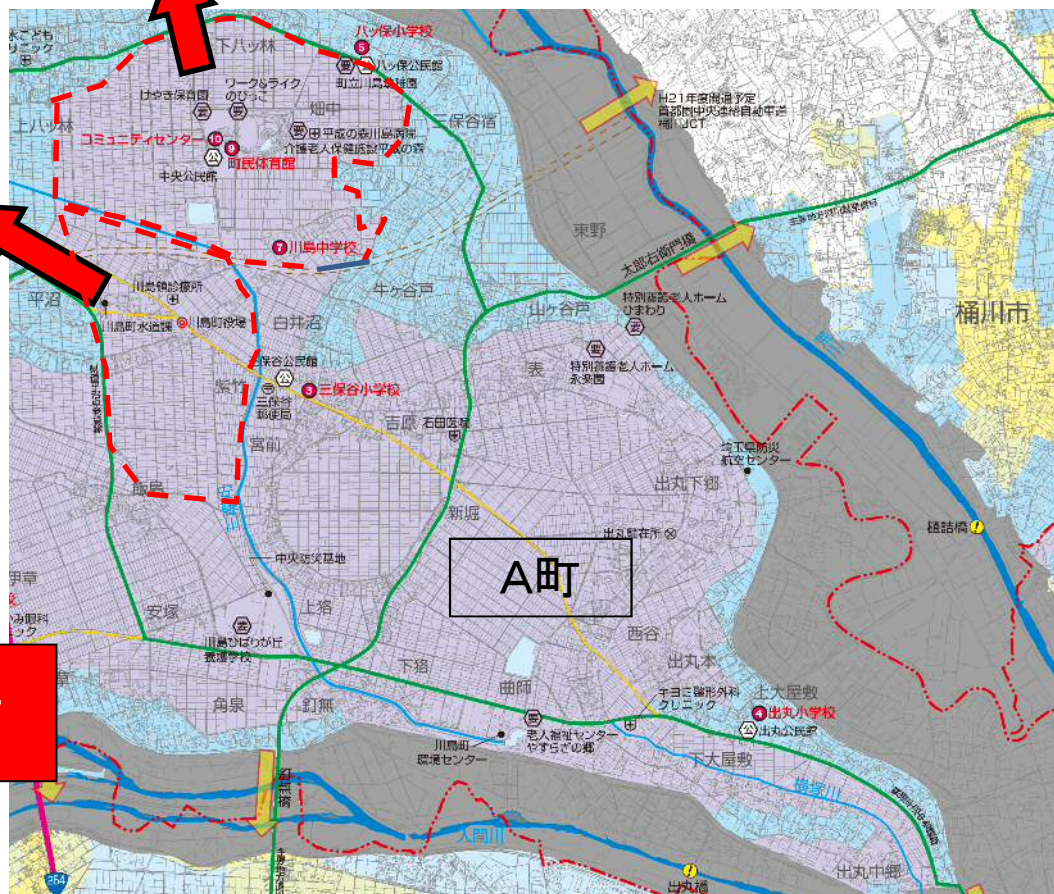
避難行動のための取組事例①

■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・ 広域避難計画やタイムラインの作成、まるごとまちごとHMなど

■ 避難所
C町 ○○センター

■ 避難所
B市
○○小学校体育館



広域避難計画を反映した
ハザードマップ イメージ

避難行動のための取組事例②

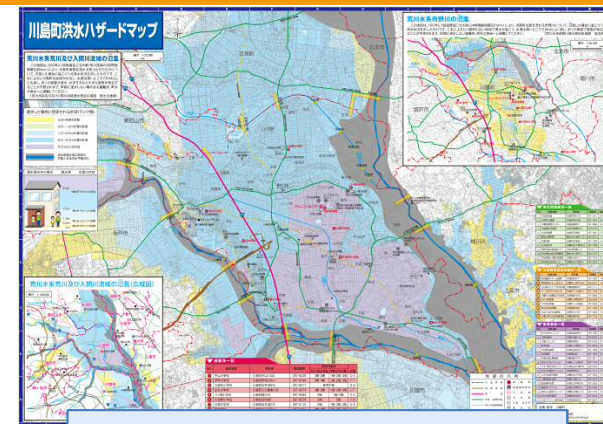
- 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する事項
 - ・ 小中学生を対象とした水防災教育の実施 など



水防活動の体験



水防災セミナーの開催



想定最大降雨による洪水ハザードマップの作成



まるとまちごとハザードマップの設置

(戸田市役所の事例)



水防災教室の開催

避難行動のための取組事例③

■円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

- ・PC・スマートフォン等でのきめ細やかな情報提供、河川カメラ画像の追加公開等



HPで公開している
カメラ画像の追加



スマートフォン
でも画像配信

水防活動の取組事例①

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・水害リスクの高い箇所の共同点検や新技術を活用した水防活動など



水防団、住民との共同点検を実施

水防連絡会
の開催



新技術を活用した水防活動

水防活動の取組事例②

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

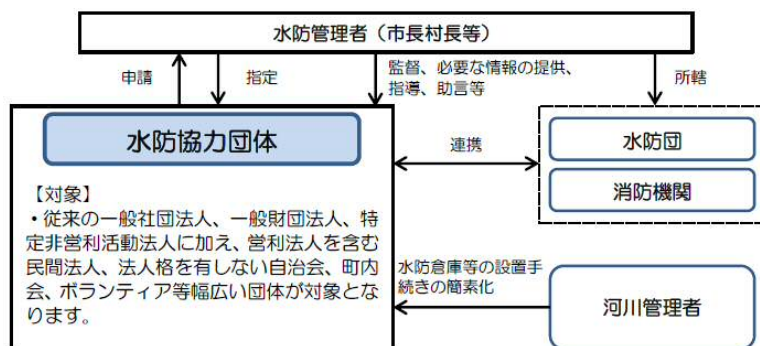
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進 など

水防協力団体を募集しています。

水防法第36条にて規定されている「水防協力団体」を募集しています。下記について、岐阜市の水防活動にご協力いただける各種団体様、また水防協力団体に関する疑問・質問等がありましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

水防協力団体とは？

水防管理者によって指定された各種関係団体が水防団と連携し、水防活動を行う制度。平成17年度の水防法改正により策定され、平成25年度水防法改正により対象範囲、業務が拡大されました。



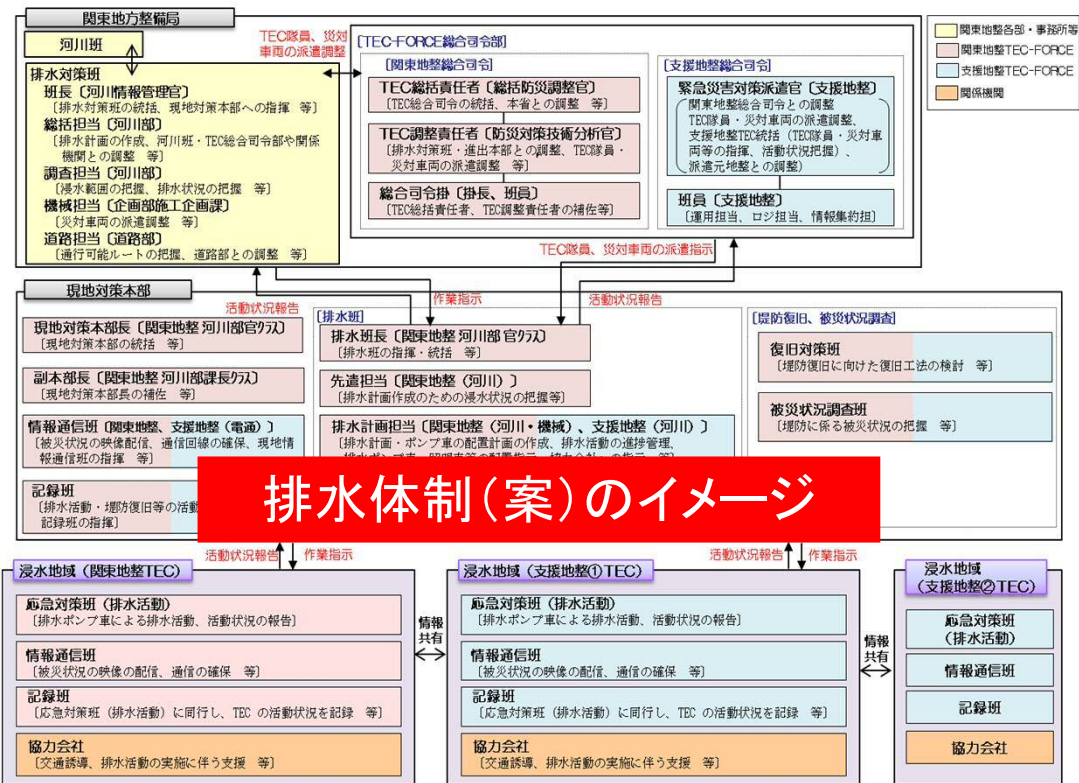
対象範囲及び想定業務内容

対象団体（例）	想定業務内容
建設会社等	水防資器材の提供、巡視、大型土のう作成・運搬等
大型販売店・食品メーカー等	水防資材の提供、支援物資の提供・運搬等
コミュニティFM	災害情報の放送（住民への呼びかけ）、PR等
新聞社	水防活動の資料収集・提供、PR等
大学等	訓練の指導・評価、実効的な水防計画等の検討等
NPO・ボランティア団体	避難所運営支援等
自治会・自主防災組織・婦人会	自治会単位での避難計画作成、自治会と連携した避難所運営計画作成、住民避難誘導、避難所運営、炊き出し等



排水活動の取組事例

・排水計画(案)の作成、排水訓練の実施、排水機場の耐水化 など



機場建屋の浸水対策を実施



入口にゲートを設置

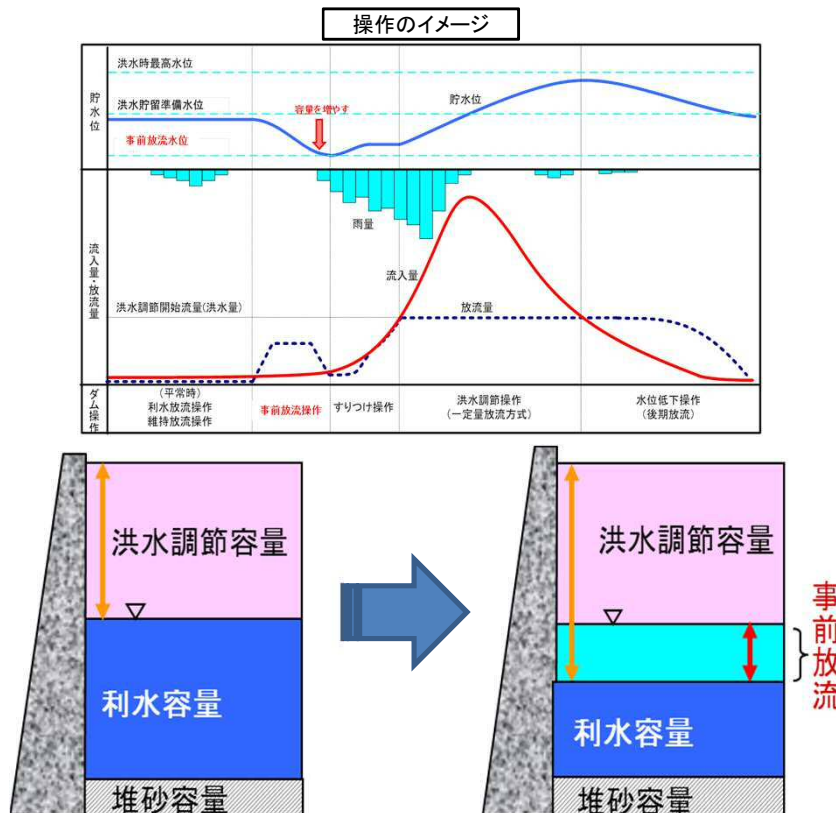
排水機場の耐水化

- ・内水氾濫時にも継続運転が可能
- ・外水氾濫時には堤内地の早期排水に寄与

その他(ダム運用)

- 最新の気象予測等を踏まえつつ、洪水調節のための容量を増やし大規模な洪水に備える「事前放流」の実施基準を点検する。
- 下流の被害をできる限り軽減するため、ダムの容量を最大限活用する洪水調節操作方法について、ルール化の検討。

- 洪水前に利水容量の一部を放流することで、洪水調節に使える容量を増やし、大規模な洪水に備える。(実施基準の点検)



- 今回の防災操作のように、下流河川の負担軽減のため、空き容量を活用しダムの容量を最大限使用する。(操作のルール化)

※「関東・東北豪雨」を踏まえ検討をするが、次期洪水への備え、降雨の終了を見通せるかなど課題も多いため、慎重な検討が必要。

今回の洪水で実施した操作イメージ

